

ゆっくり、自然体に。スロー&オーガニックな暮らし。

CARTOPMOOK

紙・インク・印刷など現時点でもっとも環境に配慮した月刊誌。

# ナチュラルスタイル

natural style

vol. **5**  
2007 SEP.

特集 ナチュラルコスメ

## 化粧品が いらなくなる化粧品。

100%天然素材のスキンケアでキレイに  
かの香織さんが酒造りから学んだ自然化粧品  
肌力を回復させるコスメでノーメイク美人

新連載 瀬戸口しおりさんのおうちごはん  
ごはんとうめいと夏野菜

遠山理津子さんの体にうれしいお弁当  
夏のおむすび弁当

木津龍馬さんのナチュラル・エナジー  
江本勝さんインタビュー

暮らしも仕事もエコシフト！  
地球温暖化のライフスタイル。

2007年9月1日発行  
定価 680yen

株式会社プロ・アクティブ代表

## 山口哲史さん

学生時代、アメリカンフットボール部に所属して体と心のバランスがどれほど大切かを知った(株)プロ・アクティブの代表、山口哲史さんは、大学卒業後に就職した大手企業から転職をした後、現在の会社の前身(株)ファイルド・アクティブを立ち上げます。その後、人間の治癒力を高めるのに大切なものは自然が持つエネルギーだと感じ、竹布やヒーリングフードなど、生命力にあふれた商品を扱うようになりました。

撮影/浅山美鈴 取材と文/森田泰純



本当の健康や成功は、人々が幸せになること。だから「健幸」、「成幸」と書いて、多くの人に自然のよさを伝えていきたい。

運動能力を高める追求が、  
ビジネスへと発展

山口さんの社内ネームは「ガッツ」。社長と呼ばれると、本音の会話ができないと、自分が自然体でいられる昔からの愛称で呼ばれている。スタッフもみんな社内ネームで呼び合う。そうすることで社内の雰囲気がよくなり、本音の会話ができるといいます。「社内ネームだと、一人ひとりに声がけしやすく、風通しがよくなって、等身大で仕事ができるのです」。

今のスタッフとは、お互いが役割分担を持ちつつ、まるで同じ釜の飯を食べている仲間のようだと言います。その背景には、最初に立ち上げた会社があまりに規模が大きくなり、内部分裂してしまい、本音で語られなかった経験が活かされている。

大学、社会人としてアメリカンフットボールに打ち込んできた山口さん。けがで試合に出場ができないときや運動能力を高めるにはどうすればいいかを考えたことが、健康への関心を高めていった。

いかにけがを克服し、運動能力を高められるかを追求し、特殊加工を施した水晶をテープにつけて体に張ったところ、運動能力が高まり、確かな手応えを得た。それがきっかけで、1990年に株式会社ファイルド・アクティブを立ち上げる。

体に波動を与えて調子を整える特殊加工をした商品をより多くの人に知ってもらおうと、箱根駅伝に着目した山口さんは、ひとり飛び込み営

心や魂に届く、  
内側からにじみ出る輝きや  
自然治癒力を高めるものを  
広く伝えていきたい。



業で大学を回っていくうちに、「テープを貼った選手の記録がよくなった」と、次第に口コミで広まってくことに。

「足腰の悪い人が、チタンテープのおかげで、旅行や山登りができましたという声が励みになりました。いまだ世に知られていない本物の良さを持った商品を、まるでガキ大将が遊びを広めるように、普及させていきました」

山口さんは当時をそう振り返る。だが、チタンテープが世に広まり、会社の規模が大きくなると同時に、社員との間に、情熱や想いといった、本音の会話が図れなくなり、方向転換を考えるようになる。

「法人という生命体が肥大化すると情報という血流が滞り、隅々に愛情が届かなくなり、やがて組織は壊疽を起こします」

企業は生命体だと感じた山口さんは、70人ほどいた社員を半分以下に縮小し、160坪だったフロアも30坪のオフィスに移転して、社員同士の声が届く環境へと変えていった。

### 思い切った決断が、 新たな道へのスタートに

断腸の思いで事業縮小をした、ちようどその頃、山口さんのところに新たな話が舞い込んできた。

「友人で感性の高いバイヤーが竹100%で作った繊維を見つけてきて、私のところで販売できないかと相談を持ちかけたのです。成功を手放したことで、次にやるべき本当の何か

がスタンバイしていると実感しました。改めて、規模や名譽を手放す勇気が必要だと感じましたね」

竹の繊維で作った布は、生きた天然素材で作られているだけに、特殊な加工や人為的な操作をしなくても人をリラックスさせる力が最初から備わっている。

竹素材のシャツやソックスは、1週間履いていても臭いが気にならないうほど抗菌力が強いそうだ。汗臭さもつかず、繰り返し使ってもその効果は持続。中国の医療現場では壊疽した部分に竹ガーゼを使用することで、ガーゼが傷にくっつかず、張替えが簡単にでき、菌が繁殖しにくく治癒力が高まることから盛んに使われているという。

「竹布で作ったシャツを着ると心身がとても楽になります。竹林に行くくと、すこくリラックスして深いところで癒され、気持ちが良くなりますが、それは空気中の水分を栄養にして、取り込もうとしているから。マインスイオンがトルマリンより多く出ている、竹にさわると血流が活性化され代謝が上がるのです。竹布は、竹林にいるような心地よさとシルクのようなさらっとした感触で、大自然のエネルギーに満ちあふれています」

人工的に合成されたケミカルな製品が多い世の中で、本当に自然なものを探している人に、本物の商品を届けることが使命だと山口さん。

自然に癒されて気持ちが悪くなる、合成繊維のチクチク、ごわごわした肌触りとの違いがはっきりとわかるといふ。

かるといふ。

「ソックスでも化学繊維と竹布で履き比べると、その感覚の違いがわかります。気持ちがいいと、また履きたくなるし、代謝もよくなります。自然とつながった製品を扱うおかげで、私自身が心身、生活とも癒されてきました。竹林にずっといられたくても、それを着ることで大自然の息吹を感じるからです」

竹は育てるのに、農薬や人工肥料、化学肥料を使う必要もなく、3、4年で成長しきる植物。切ってもまた、箱となって成長する生命力にあふれたエコロジーな植物だ。竹布は化学物質が含まれておらず、アレルギーの人でも安心して使うことができ、清涼感で夏は涼しく、保温性に優れているので冬は温かく一年を通じて快適に使うことができる。

竹そのものが持つ天然の抗菌性、吸水性、肌触りが生かされた注目のエコ素材は、健康と環境の両面からも人や地球に優しい商品だ。

### 自然本来のエネルギーが つまったピュアシナシー





株式会社プロ・アクティブ  
 東京都武蔵野市吉祥寺南町2-6-1  
 早坂ビル3F  
 Tel:0422-76-7511  
 http://www.pro-active.co.jp



もうひとつ、山口さんが力を入れる「ビュアシナジー」もそんな商品だ。自然療法で、アメリカの5本の指に入るヒーラー、ミッチェル・メイは事故で足を切断しないと命が危ないと宣告を受けたが、切断を拒否し、当時、伝説のヒーラーと言われたジャックグレイを紹介される。

ドアの開け閉めだけで全身に激痛が走るほど重傷だったミッチェルは、ジャックからヒーリングを受け2年で歩けるようになった。そして退院後、ジャックのヒーリングを伝承し、伝説のヒーラーとなっていく。

「ヒーリングは常に一人と向き合っただけで癒すことしかできません。ビュアシナジーは、ミッチェル・メイの行うヒーリングと同等の効果を多くの人に届けるために作られたのです」。

ビュアシナジーに含まれる素材はすべて有機栽培および安全が確認されている野生種のみを使用し、数百種の栄養素が丸ごと摂れるのが特徴だ。遺伝子組み換え原料や添加物を排除しハーブや漢方などの植物を中心に52種類もの活きた食材がブレンドされている。

バランス良く配合することで栄養面とエネルギー要素との相乗効果が生じ、ビタミン、ミネラル、酵素・アミノ酸・フラボノイド類などの栄養を壊さずに摂取できるという。

「現代の農業では化学肥料で土壌が痩せて土地に微生物がいなくなり、形や栄養はいいけど、中身はスカスカという野菜が少なくありません。今の人々は、情報があふれ過ぎてい



**山口哲史さん**  
 兵庫県伊丹市出身。大企業に7年間勤めた後、1990年に(株)フィールド・アクティブ/現(株)プロ・アクティブを起業。健康、美容、スポーツ商品の通販、店舗、卸売業を手がける。現在は、竹100%の繊維で作られた竹布商品や、ヒーリングフード「ビュアエナジー」など自然でビュアなエネルギーを衣食住に活用した健康友愛商品の企画販売を手がける。

て、驚異的なストレスに常にさらされている。本来なら食べたビタミンやミネラルは免疫や代謝を上げるために使われなければならないのに、ストレスが多すぎて心身がそれに追いつけないのです」。

そこには、オーガニックや野生のもの、自然本来のエネルギーや生きた栄養素がぎゅっしり備わった力のあふれる製品を届けたいといった、山口さんの思いが込められていて、お客様も、口コミやネット、雑誌などを見て共鳴した人が多い。

**本当の幸せを追い求め、心や魂に響く商品を紹介する日々**

「真の健康とは、健康と書くのだけれど、内面的、精神的、社会的、霊的に、満足な状態であることが本来の幸せであり、健康そのものなのです。そして、私が紹介した商品を使ってくれた人が幸せになってくれれば、成功が成幸へとつながっていくと思うのです」。

仕事や商品を通じて周りの人々が満たされ、心が平安に豊かになることが自分の幸せにもつながっていく。「誰でも起業するとき、最初はこれ

をやりたいという強い思いがあって、法人を作りますが、規模が大きくなると、最初に抱いていた思いは遠のいて、守りの姿勢に入ってきています。守りに入った瞬間、初心に抱いていた心が置き去りになり、表面的なところしか見えなくなります」。

人々に自然が持っている癒し、活力を与えることで、心や魂に届く、内側からにじみ出る輝き(ラディアンス)や自然治癒力を高めるものを広く伝えていきたいと山口さんは抱負を語る。

「自然界の偉大なエネルギーが宿るオーガニックフードを食べてもらうとその人の生命力に響き、心や精神にまで作用します。体と大自然のエネルギーがつながると、それが癒しとなって、深いところに気が通い、人間本来の生命力が活発になり、弱いところが改善されるのです」。

現在では自然そのものの商品を選ぶことで自分らしい商売ができて楽しいと山口さん。規模は10人と小さくなったが、大所帯で風通しの悪かった前の会社より、今の押しくらくら頭状態の方が、家族的で肩肘張らない自然体の山口さんのライフスタイルに合っているようだ。